

# とうきょう すくわくプログラム 活動報告書

-  **項目**  **内容**
-  **テーマ** 体操
-  **テーマの設定理由** 本園では、河合体操教室の外部講師による体操活動を週に1回実施。遊びながら身体を動かす楽しさを感じたり、苦手な鉄棒や跳び箱、縄跳びなどにも友だちと挑戦し、成功の達成感を味わえるような活動を行っている。グループで取り組む活動が多いため、子ども同士の気づきや発見を育む機会があると考え、テーマを「体操」とした。

## 2. 活動スケジュール

|    |  <b>活動内容</b> |     |  <b>活動内容</b> |
|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4月 |  集団行動        | 10月 |  リレー         |
| 5月 |  鉄棒          | 11月 |  大縄          |
| 6月 |  マット運動      | 12月 |  短縄         |
| 7月 |  跳び箱       | 1月  |  ボール       |
| 9月 |  走り方       | 2月  |  ドッジボール    |

## 3. 探究活動の実践

- ボール、縄跳び、跳び箱などを体操講師と相談しながら準備。安全を考慮して環境を整えた。
- 活動に応じてホールと園庭を使い分け、体操講師と担任で連携を取りながら見守った。
- リレーの話し合いでは、子どもが話しやすいよう少人数グループで集まり、バトンを落とさずに走る方法、速く走る方法について相談した。
- 話し合いが進みにくいグループには保育者が介入し、子どもの発言を受け止めながら援助した。
- 決めた作戦や走り方を、実際に走る前に子ども同士で確認し合う様子が見られた。

## 4. 振り返り

- 一学期から話し合い活動を行っていたことにより、リレーの話し合いでは多くのグループがスムーズに話し合いを進められた。
- 自分の意見を押しつけるのではなく、相手の意見も受け入れて話し合う姿に、年長児らしさが見られた。

- ・ バトンの渡し方や速く走る工夫に気づいた子が、自発的に実践する様子もあった。
- ・ 話し合いが難航したグループでは、意見の対立や譲らない姿勢が見られた。もしリーダー的な存在の子がいれば、より良い話し合いになった可能性もあったと感じる。

